

令和4年度八戸学院大学 卒業生に関するアンケート 集計結果報告

調査期間：令和4年7月6日～令和4年7月29日

調査対象：令和2年度卒業生就職先

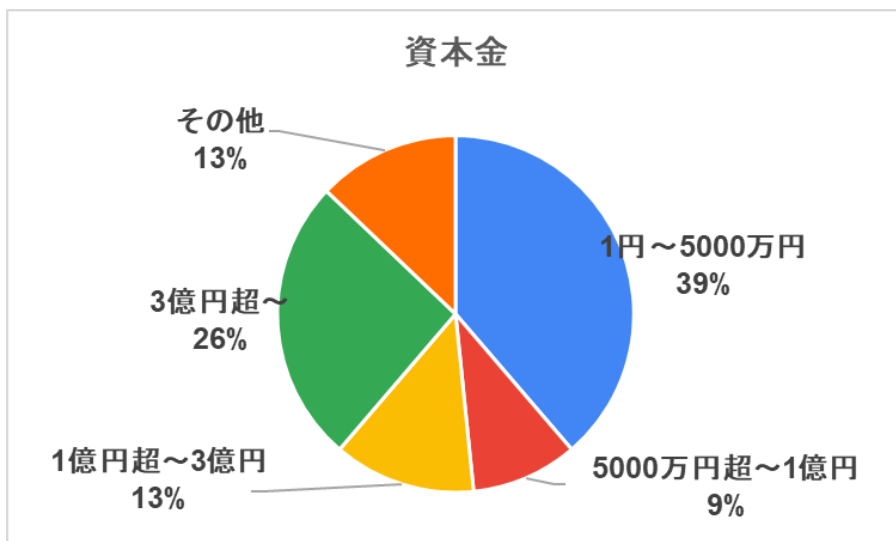
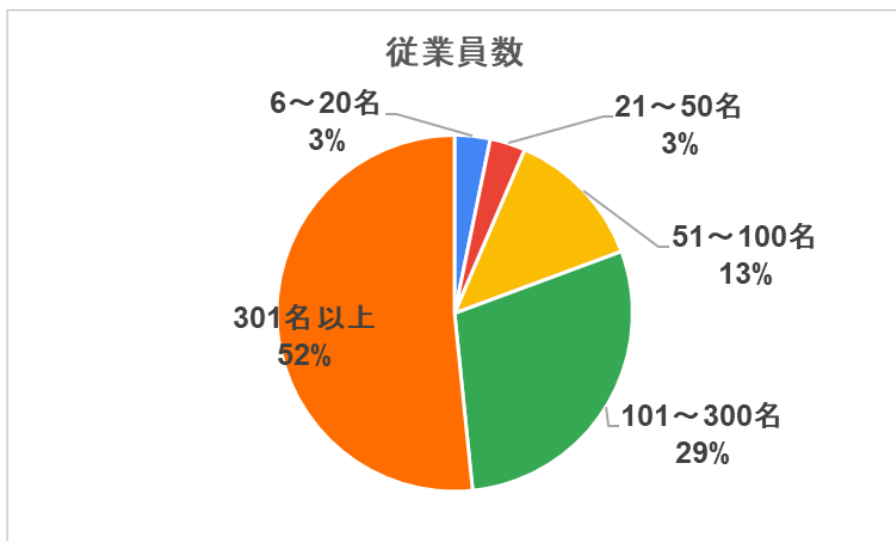
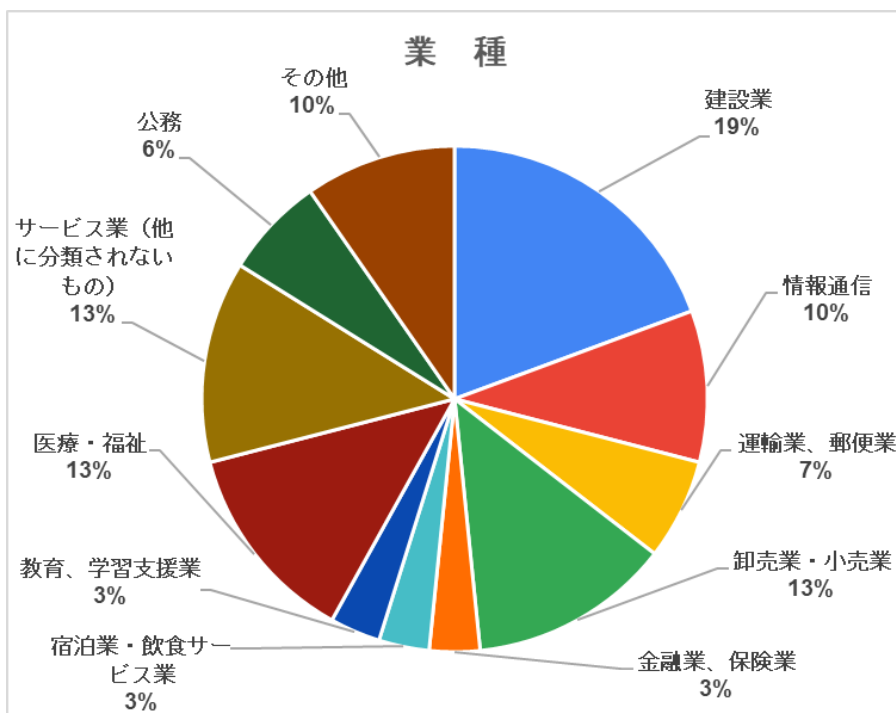
調査方法：ビジネス学科、人間健康学科、看護学科の令和2年度卒業生就職先へアンケート依頼文を送付し、
Google フォームでの回答をいただいた。

回答数：ビジネス学科・人間健康学科対象 108 社依頼⇒31 社回答（回収率 28.7%）

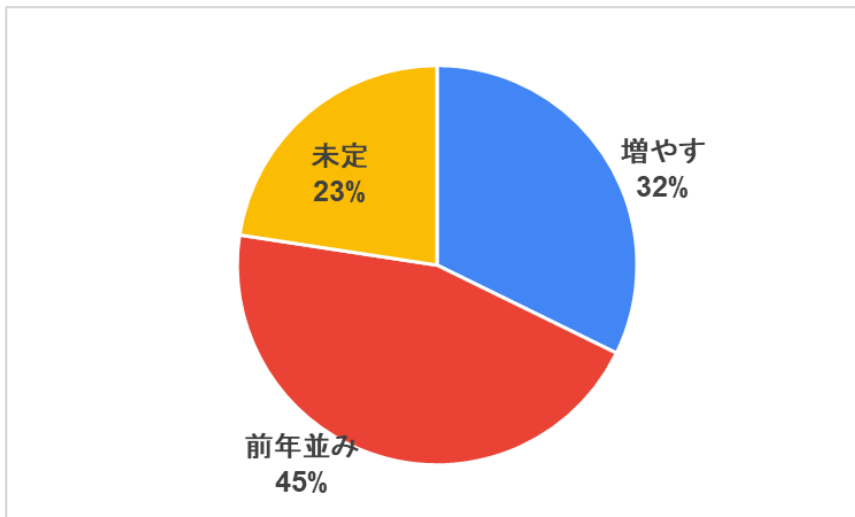
看護学科対象 25 施設依頼⇒10 施設回答（回収率 40%）

□ビジネス学科・人間健康学科対象アンケート結果

回答をいただいた企業の内訳は以下の通りである。

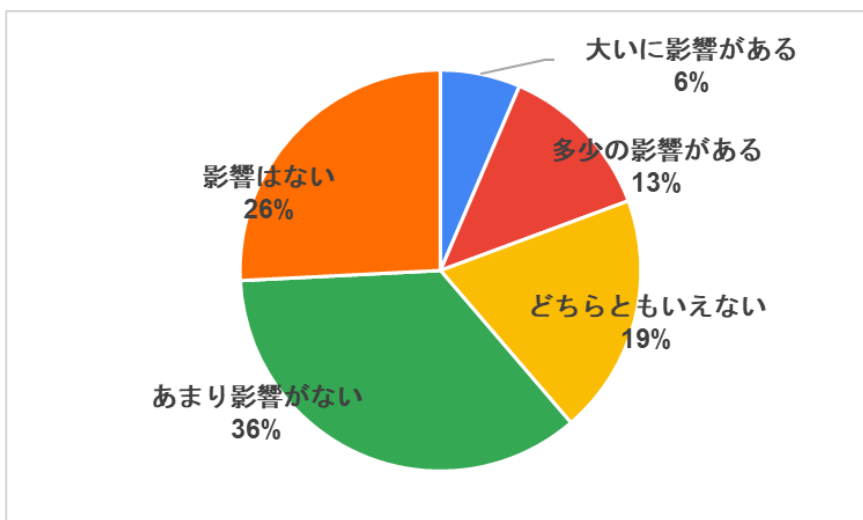


1. 次年度の採用予定



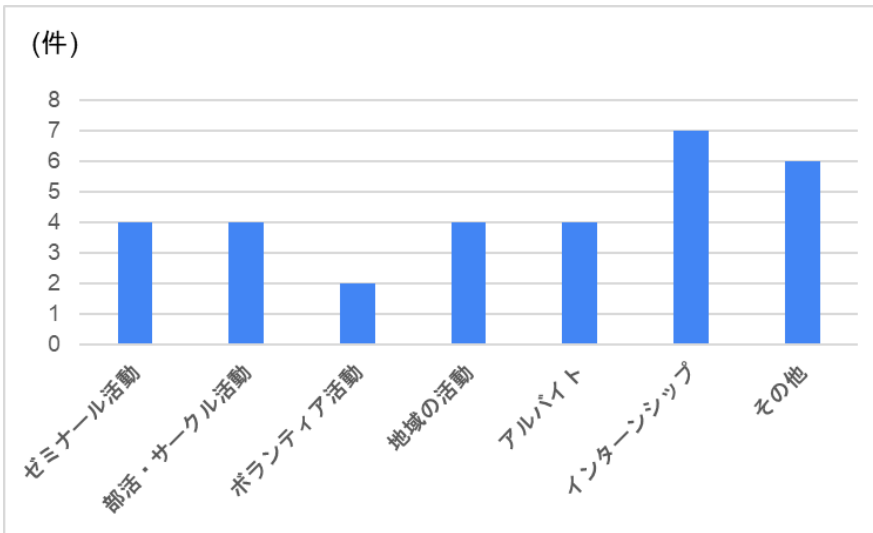
次年度の採用予定に関しては、「増やす」と回答した企業が昨年度から18%増になった。「減らす」と回答した企業がなかったが、業種によって変動があるのかもしれないので、採用市場の動向を注視していく必要がある。

2. 新型コロナウイルスの影響



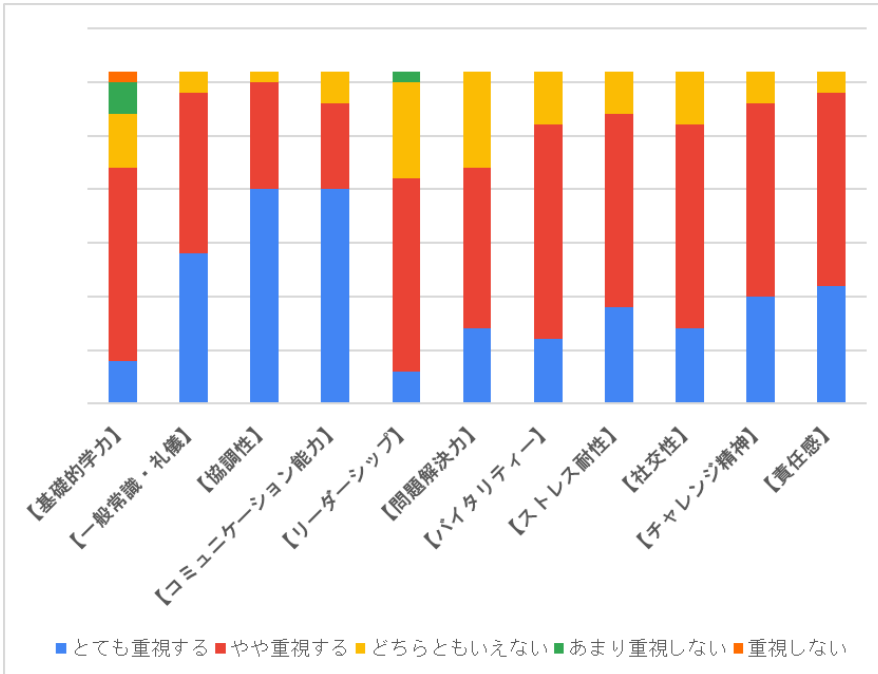
新型コロナウイルスによる賃金体系や福利厚生面への影響についての回答は上記の通りとなっており、全体の19%の企業が「影響がある」と回答している。昨年度と比較すると、全体的に大きな変化はなかった。

3. 学生時代に経験しておいてほしい事



学生時代に経験しておいてほしい事では、大きな変動がなかったが、インターンシップが上位となる結果となった。昨年度は部活・サークル活動が上位となっていたが、対人関係の中で行う活動をしてきてほしいという企業も多く、職場体験を含むインターンシップの経験を望む企業が増加した。そのため、インターンシップについて、今まで以上に学生へ就職指導として取り組むことが必要となってくる。

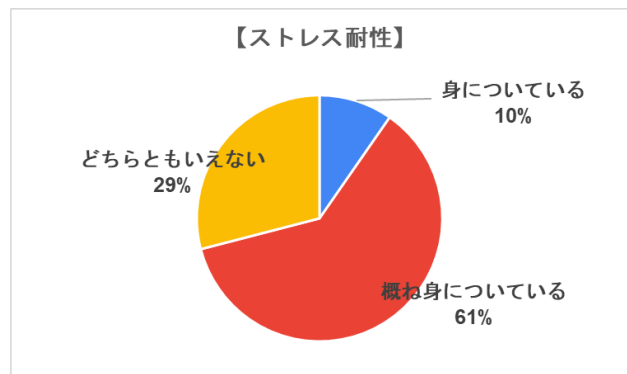
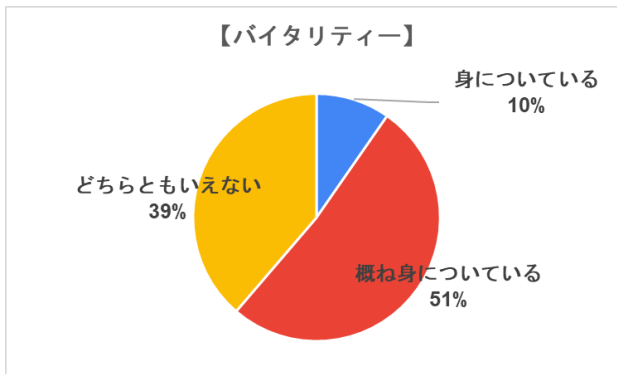
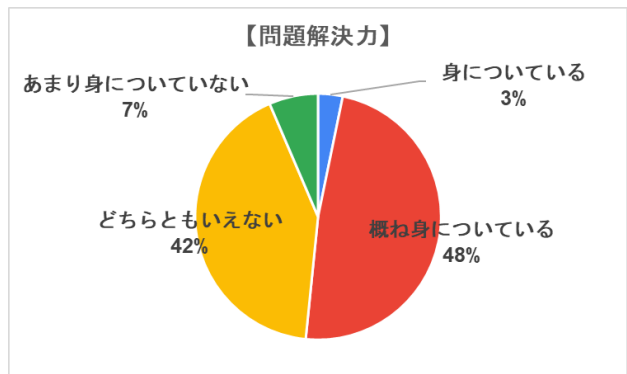
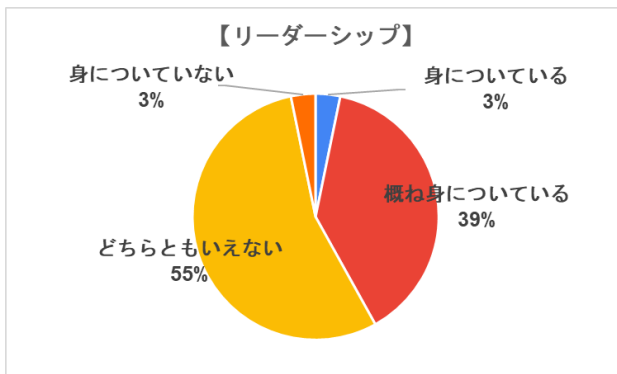
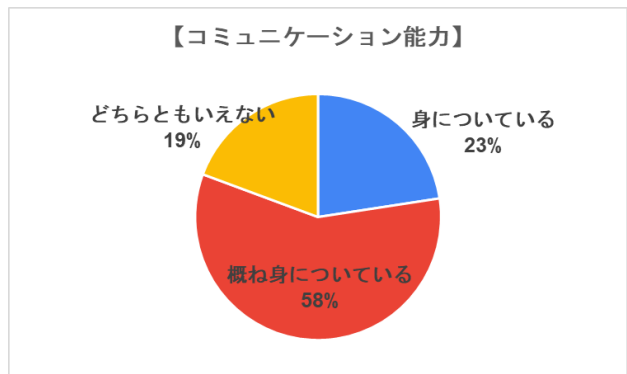
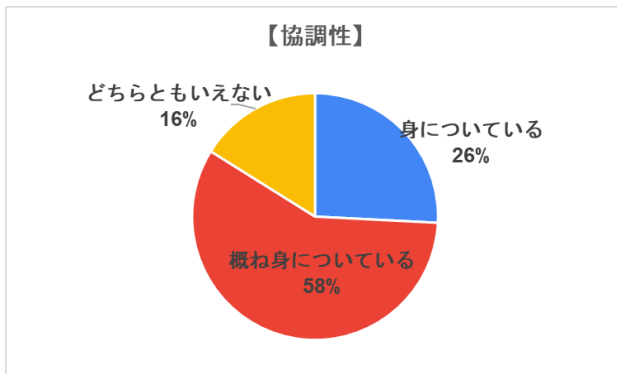
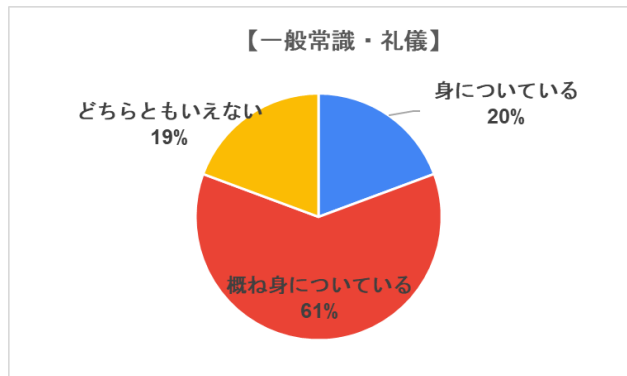
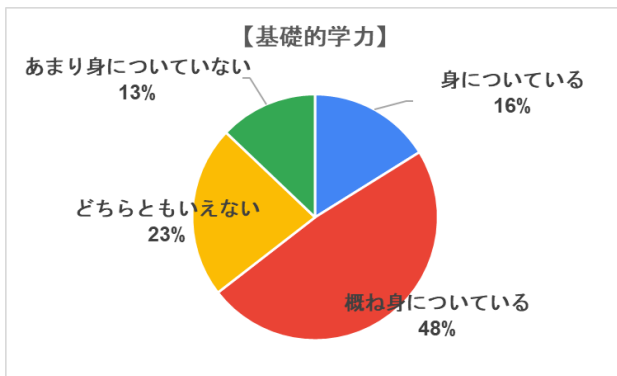
4. 採用に当たり重視する点

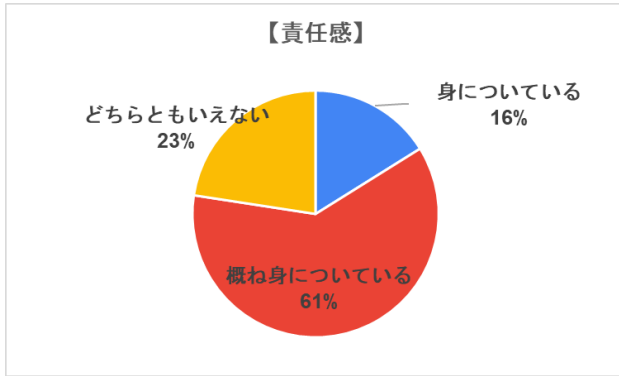
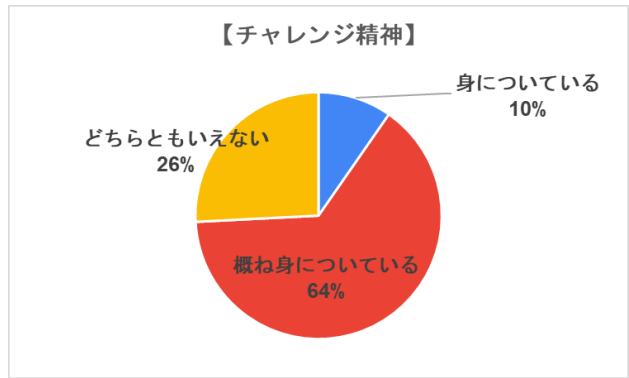
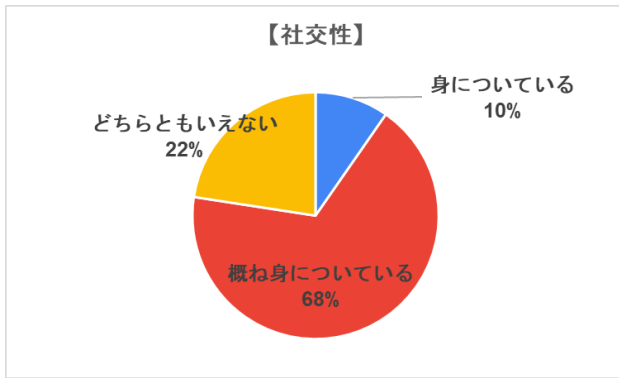


採用に当たり重視する点では、一般常識・礼儀、協調性、コミュニケーション能力が上位となっている。上位は昨年度と変化はなかったが、リーダーシップを重視する企業が増加傾向にある。

5. 本学卒業生の評価

上記5の項目についての本学卒業生の評価は以下の通りである。

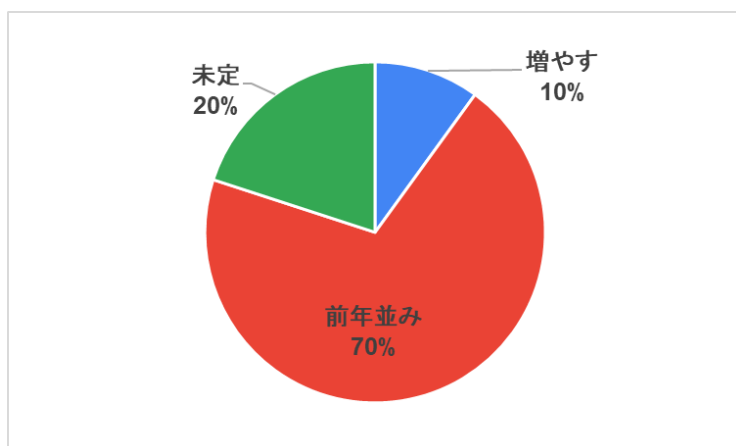




企業が学生に強く求めている一般常識・礼儀、コミュニケーション能力、協調性の項目については概ね高い評価を得ており、社交性、チャレンジ精神、責任感についても高い評価を得ている。しかし、リーダーシップについては高い評価とはいえ、今後、リーダーシップを養えるような指導も必要となってくる可能性がある。

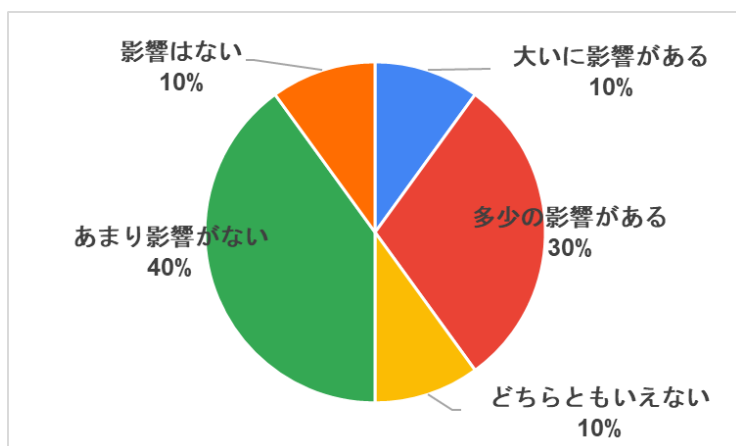
□看護学科対象アンケート結果

1. 次年度の採用予定



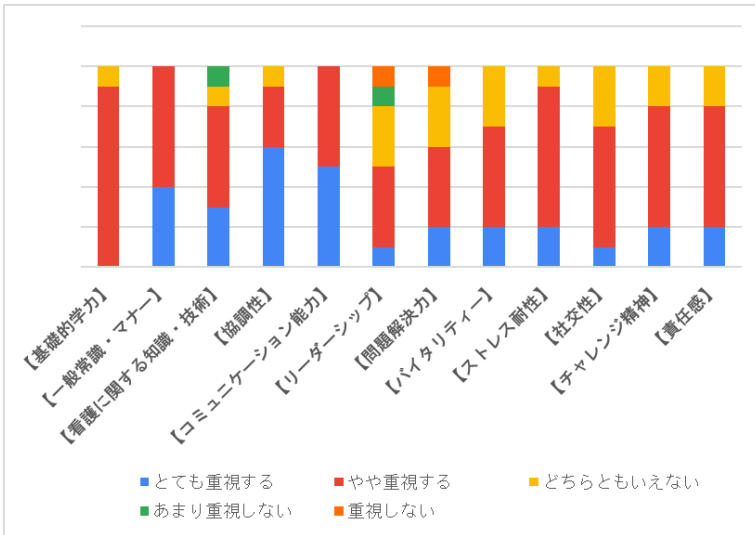
次年度の採用予定に関しては、昨年度と比較し、「増やす」の回答が3%増加し昨年度よりも改善されている。

2. 新型コロナウイルスの影響



賃金体系や福利厚生面への影響があるとの回答は40%で、昨年度は29%だったため、昨年度よりも新型コロナウイルスの影響があることが分かった。

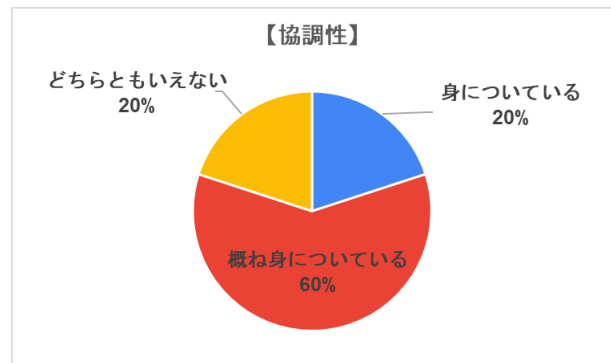
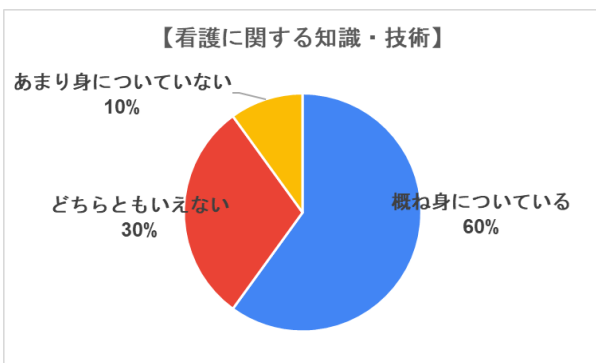
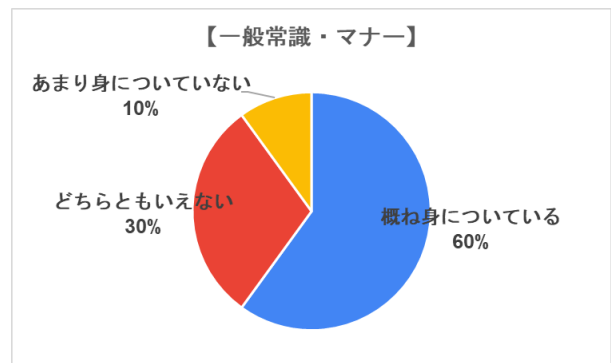
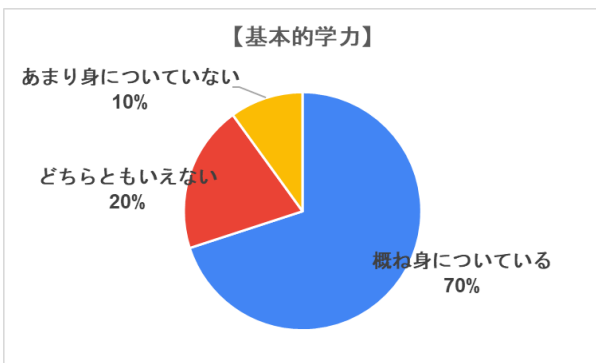
3. 採用に当たり重視する点



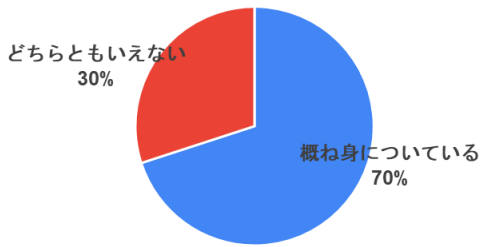
採用に当たり重視する点では、「一般常識・マナー」「協調性」「コミュニケーション能力」が上位となっている。一般企業向けの調査でも概ね同様の結果となっており、業種による大きな違いがないことがわかる。

5. 本学卒業生の評価

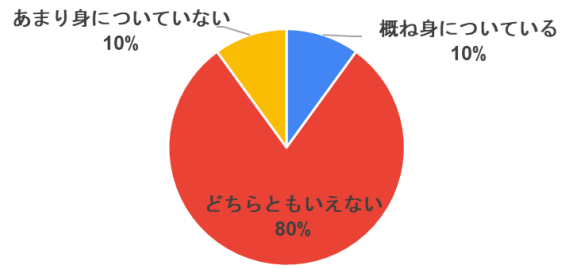
上記5の項目についての本学卒業生の評価は以下の通りである。



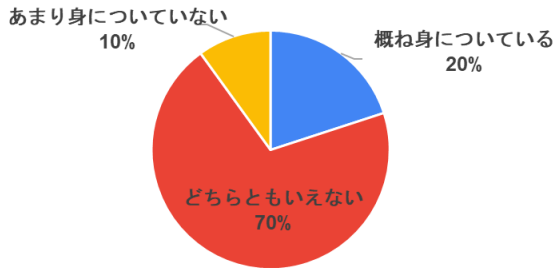
【コミュニケーション能力】



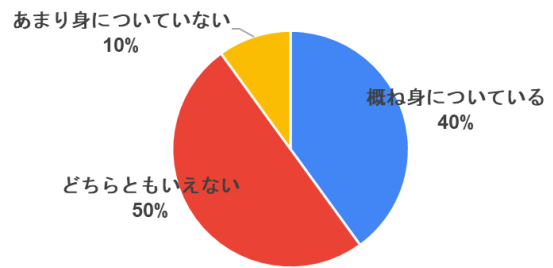
【リーダーシップ】



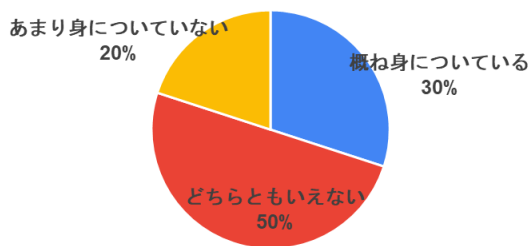
【問題解決力】



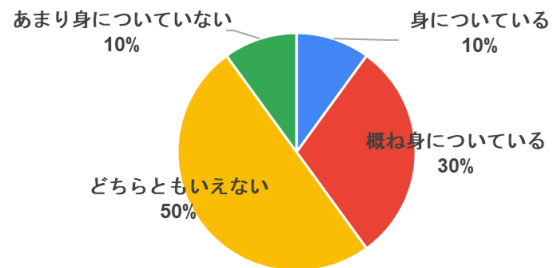
【バイタリティー】



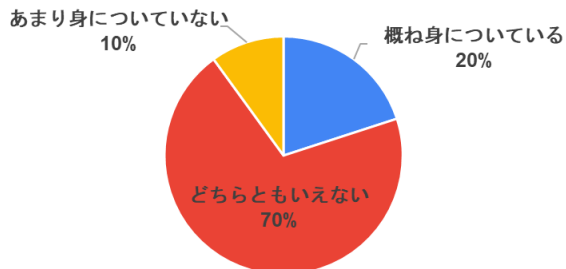
【ストレス耐性】



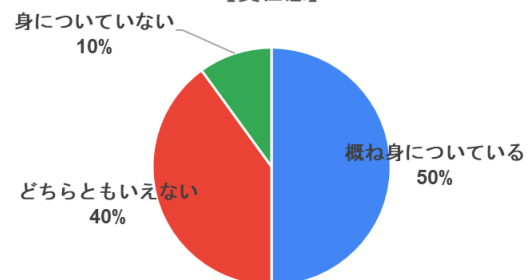
【社交性】



【チャレンジ精神】



【責任感】



施設が学生に求めている「一般常識・マナー」「コミュニケーション能力」「協調性」の項目については、概ね高い評価を得ている。一方、評価の低い項目については、改善していく必要があると考えられる。